

Java Web システム ショッピングサイト

システム名	KEN ショッピングサイト
プログラム名	top.jsp

KEN School

処理名	商品検索、商品追加画面	JSP 名	top.jsp
業務概要説明			
<p>【処理概要】</p> <ul style="list-style-type: none">● 商品の検索、商品を買い物カゴに追加する、などの処理を行う			

処理名	商品検索、商品追加画面	JSP 名	top.jsp
-----	-------------	-------	---------

JSP 詳細

【JSP 設計】

項番	項目	値
1	package	—
2	class/interface/jsp	jsp
3	アクセス修飾子	—
4	修飾子	—
5	継承元	—
6	実装元	—
7	使用クラス/インタフェース	java.util.ArrayList; ken.bean.Item;
8	アノテーション	—

図 1

現在選択されている商品

①

選択商品 2 個

🛒 カートの中身を見る

選択カテゴリー商品

②

商品	商品名 著者 価格	
	ホリー・ポッター ケン・ジャイシー 580	🛒 カートに追加
	AGE of vase ダンレッド 410	🛒 カートに追加
	龍玉60年の歴史 島山明 600	🛒 カートに追加
	メサニョキ さくらむむこ 1050	🛒 カートに追加

処理名	商品検索、商品追加画面	JSP 名	top.jsp
JSP(上記スクリプトレット部分)詳細			
【処理内容】 1. 図 1 の①に session スコープから"cart"というキーのオブジェクトを取得し、取得したオブジェクトの要素数が表示されるように<c:out>を使用する ※default 属性を使用して、値には0を指定すること（キーがnull時に0を表示するため） 2. 図 1 の②のように表が表示されるようにする			
【表の作成】 top.jsp の中の下記ソース部分中の ① ～ ⑨までにそれぞれプログラムを組み込む形をとる			
<pre><!-- ●！！！！表の作成はここから！！！！● --> <c:if test="①"> <c:forEach var="item" items="②"> <form action="kenshop" method="post"> <div class="items"> <div class="lineup_img"></div> <div class="lineup"> ④&nbsp;&~ ⑤&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&nbsp;&~ ⑥</div> <div class="lineup_btn"> <input type="image" src="img/btn_addition.gif" alt="カートに追加"> <input type="hidden" name="act" value="add"> <input type="hidden" name="id" value="⑦"> <input type="hidden" name="name" value="④"> <input type="hidden" name="artist" value="⑤"> <input type="hidden" name="price" value="⑥"> </div> </div> </form> </c:forEach> </c:if> <c:if test="⑧"> <p class="err_message">⑨</p> </c:if> <!-- ↑↑↑↑表の作成はここまで↑↑↑↑ --> </section></pre>			

処理名	商品検索、商品追加画面	JSP 名	top.jsp
JSP 詳細			
<p>【処理内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <c:if>タグを使用して条件分岐文を作成する 例) <c:if test="条件式"> <p>こんにちは</p> </c:if> ① の条件は、sessionスコープからキー"table_items"で取得した値が null ではない場合 true 2. 1. で作成した条件分岐文の中に繰り返し文を<c:forEach>タグで作成する 例) <c:if test="条件式"> <c:forEach var="変数名" items="コレクション"> 繰り返し処理 </c:forEach> </c:if> ② のitems属性の値には、sessionスコープからキー"table_items"を指定し、取得した要素数分繰り返し var属性の値には"item"を指定する 3. ③ にvar属性で指定したitem の getItemImage() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する 4. ④ にvar属性で指定したitem の getItemName() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する 5. ⑤ にvar属性で指定したitem の getItemArtist()メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する 6. ⑥ にvar属性で指定したitem の getItemPrice() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する 7. ⑦ にvar属性で指定したitem の getItemID() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する 8. ⑧ の条件式は、requestスコープからキー"no_item"を取得して空文字の場合は true 9. ⑨ にrequestスコープからキー"message"の値を取得して表示されるようにEL式を使用する 			